市民の声

来年に期待
土佐のまほろば祭り

今年の「土佐のまほろば祭り」も実行委員さんたち関係者のご尽力で盛りだくさんな催し物を組み込んでにぎやかに開催され、まことにご同慶にたえません。

「来年のことを言うと鬼が笑う」とも言いますが、ほとぼりが冷めないうちに来年への希望を申し上げます。

要点を先に申しますと、「土佐のまほろば」と銘うつ以上、単に南国市民だけの祭りに終らせるのではなくて、もっと広範囲にデピールすべきだと思うのです。それにはどうすればよいかと言うことになりますが、いろいろな方策が考えられることでしょう。いずれにしても次の諸点が充たされることが肝要ではないかと考えます。

①「まほろば」とあまりかけ離れた催しでないこと。
②練習に期間を要しないこと。
③多くの観客動員が可能なこと。
④経費がなるべく少なくて済むこと。

以上の諸条件を充足して他市町村からも多くの人の参加が期待できる行事として『相撲』が最適だと考えます。

ご承知のように『相撲』は大昔から行われている国技でもあり、まほろばの行事としてふさわしいと思います。また、わんぱく相撲から学生、一般まで幅広い層の動員が可能です。なお、この実施については関係団体の協議や場所の問題など多くの課題があると思われますが、要は『意欲の有無』だと考えます。

次に、経費面で感じるのは、『花火』です。これはどこの市町村も取り入れているようで、あまり変わりばえもなく感心できません。花火大会は隣の高知市が毎年盛大に行っており土佐山田町、野市町、吉川村、市内でも農協が打ち上げています。南国市がどうしてもやらなければならないという必要性はないと思います。

それより、他市町村がやらない独自性をもった催し物に同じ費用をかけることが望ましいのではないかと思います。花火以外の催し物はほとんど南国市独自のものなので、多くの観客に堪能して貰えることでしょう。来年からの祭りがより盛大に行われるよう期待しています。

（一市民）

このページは市民の皆さんが作るページです。どんなことでも結構です。お気軽に皆さんの「声」をお寄せください。

あて先は、南国市広報委員会（〒783 南国市大埇甲一三〇一）です。

「大埇」について
発展的に解消すべき

私が住んでいる「大埇」について、私見を申し上げ、市当局にお伺い申し上げます。

実は、先だって、県外のクラスメイトが祝電を打ちたいが、貴兄の住んでいるのは何という所ですか。当用漢字の辞書をひもといても分からないので、ご教示願いたいとのことでした。

また、県外から来る手紙の表書きにも「桶」「樋」「蛹」「竿」などというように書かれており、まともに「埇」と書いてあるのは少ししかありません。皆さんの中にもこの件に関して、当惑した経験をお持ちの方もあろうかと思います。

「大埇」という地名には、故事来歴があろうかと思われます。しかし、南国市は高知市に次ぐ第二の田園都市として躍進途上にあります。当用漢字にもない字を使った「大埇」という地名は改め、誰が見ても、誰が読んでも分かりやすい町名にすべきではなかろうかと思います。市当局ならびに関係者のご意見を承りたいのですが。

（武地秀男・大埇）

講談社の「大字典」によると、「埇」は「よう」「ゆ」「おきつち」と読み、意味は「道の上にさらに土を加えること」とあります。また、「土佐の国長岡郡に大埇（おおそね）村あり。これ大埇と書くべきを誤りしならん。埇（そね）はやせ地のこと」ということがつけ加えられています。

（広報）

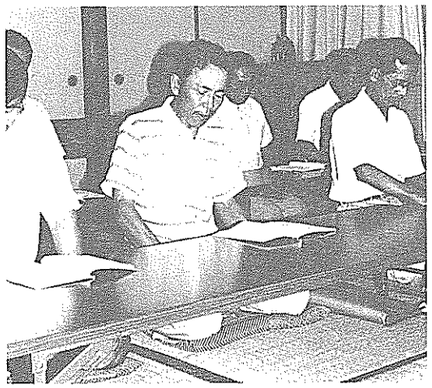
無料
交通事故ご相談
●電話のご相談もお受けします
☎0888-25-0318（直通）
相談日：月曜から金曜午前9時半～午後4時40分
◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます
◎弁護士相談日：毎月第1金曜日午後1時～4時
社団法人 日本損害保険協会
高知自動車保険請求相談センター
高知市本町2-1-6（宝町本町支店ビル2階・電停大橋通東） 高知総合事務所内 ☎0888-25-0315

われら
サークル仲間
喜多流謡大篠会

中央公民館には二教室十一サークルがあり、文化祭への参加などいろいろな活動が行われています。年齢、職業はさまざまですが、それぞれサークル仲間の和が広がって、毎回楽しく受講している皆さん。

その触れ合いの場を紹介します。

今回は喜多流謡のサークルにおじゃましました。



みんなで声を合わせて

その人柄でメンバーに慕われている野村先生

始まって十年を越える喜多流謡大篠会の練習日は、毎週木曜日の夜。歴史があるだけあって、始めて一年目の人から六、七年の人、中には十年を越す人も。代表の中岡俊夫さんを中心に、十月二十八日の文化祭に向けて今一段と練習に熱が入っています。

謡曲は、能の詩章と曲の部分。結婚式で朗々と流れる「高砂」などは、小謡（こうたい）といって、謡曲の中のおもしろい部分を抜き出したものです。サークルの皆さんが練習しているのは、囃子が付かない素謡（すうたい）。

安芸市の内原野から来ている野村幸太郎先生が到着するといよいよ練習の開始です。背筋をピンと伸ばして正座し、膝には扇子。「これが謡曲の作法です」とのこと。姿勢が悪いとすぐに声の出が違ってくると言います。一人一人、また全員で、野村先生の丁寧な指導のもとに練習が続きます。

今練習しているのは「鶴（たづ）」。今度の文化祭の発表曲です。大体年間五、六曲を練習。入門から入って、今では奥伝の人も。

メンバーは十二人で、中でも多いのは大工さん。新築した家の祝いの席で謡を披露しなければならないためとか。皆さん一様に「小謡が歌えるようになれば」と始めましたが、なかなかそういうわけにはいきません」と笑っていました。また、紅一点の上田啓子さんは、「練習もせずに、来るときは気が重いのですが、練習が終わるころには、やっぱり来てよかったと思っています」と本当に楽しそう。

最後に中岡さんから一言。「文化祭の芸能部門は一日だけで、あることを知らない方もいるのではないかと思いますが、ぜひ来てください。また、興味がある方、一緒にやってみませんか」。

参加しませんか
さつき教室

中央公民館では、さつき教室を10月から始めます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

◪日時　10月14日(日)10時～12時以後毎月第2・第4日曜日
◪場所　南国市立中央公民館
◪講師　日本皐月協会　南国さつき愛好会会長　小松和夫さん
◪費用　会費として月100円、材料費は別に実費
※申し込みは、9月30日までに、中央公民館（☎(64)3498）へ。
【中央公民館】

南国市を
ファインダーから
のぞいたら
撮影会を開きます

南国市文化推進協議会写真部では、次のとおり撮影会を開きます。後免商店街などを、講師といっしょに撮影してみませんか。

◪日時　9月30日(日)9時に市役所玄関前に集合
◪費用　無料

また文推協写真部では会員を募集しています。年会費は八百円。あなたも一緒にやってみませんか。

※詳しいことのお問い合わせは、市文化推進協議会事務局（☎(64)3498）まで。